

北海道拓北養護学校



コミュニティ・スクール
だより

第5号

令和7年12月23日
北海道拓北養護学校
学校運営協議会事務局

12月2日(火) 第2回学校運営協議会を実施しました。

第2回は9名の委員の方に御参加いただいたの实施となりました。また、本校からは校長、副校長、教頭、事務長の他に3名の教員が参加し、以下の内容を行いました。

◎主な内容

- 1 今年度の校の取り組みについて (副校長)
- 2 令和7年度学校評価について (副校長)
- 3 グループワーク(熟議)

テーマ「これからの拓北養護学校に期待すること」

※3つのグループに分かれ、テーマに沿ったディスカッションを行いました。



<当日御参加いただいた委員の皆様>

1【今年度の本校の取り組みについて】

PTA 花火大会、同窓会、校地外避難訓練、一日防災学校、見学旅行(中3、高2)、宿泊研修(中2、小5)、などの様子を写真を交えながら説明しました。また、今年から始めた地域活動プログラム(愛称「たたく」)はこれまでスポーツ大会、コンサート、販売会、芸術体験などを行ったことを報告しました。

2【令和7年度学校評価について】

保護者からいただいた学校評価と、教職員が行った学校評価の集計結果について説明しました。(別紙資料参照) また、今回は参考資料として、新たに ChatGPT を使った分析を紹介しました。ChatGPT による分析では、「地域交流」「PTA 参加」「情報発信」「進級時の引き継ぎ」などのキーワードが抽出され、それらを受け、委員の方々からも多数の御質問、御意見をいただきました。

○今年度から授業時間が減ったが、今回マイナスの評価が増えている。先生方の意識などに変化はあるのか。

→今年度から評価に参加する職員を増やしたことが一つの要因と考える。この学校評価前に行った「教育課程に関するアンケート」では授業時間等に関する時間を確保できたという意見が多い。授業時間や個別の指導計画等の各様式を変更して1年目なので教職員が時間を上手に使えていない部分もあるのでは。

○進級時の引継ぎの充実について

保護者が望んでいることも共有してほしい。児童生徒の情報が学部が変わると伝わっていない場合がある。児童生徒の記録を丁寧に残していくことが必要ではないか。

○進路、キャリア指導について

授業時数の不足について、「自立活動など、もう少し時間があつたらでき

るのに」と感じている保護者もいるのではないか。

○設備不具合について

具体的にどのようなことか。

→校舎の老朽化によるボイラーの不調、雨漏りなどが校内でみられる。

○地域学習等の目的の明確化が不足

地域学習の目的は何か？と思うことがある。地域学習の目的を、保護者と先生が共有できたらよいのではないか。

→小・中学校児童生徒、または介護等体験実習生などは、特別支援学校を見たことがないという方が多い。そのような方にも障がいをもつ児童生徒を認知してもらい、特別支援教育のことを理解してもらうことはどちらにとってもメリットがある。保護者にもこうした考えや地域学習のメリットを理解してもらえれば、充実した活用につながるのではないか。

3 【グループワーク：テーマ「これからの拓北養護学校に期待すること」】

会の後半、3つのグループに分かれ、テーマに沿ったディスカッションを行いました。様々なお立場から、活発な意見交換がなされました。

<グループワークで出された御意見>

〔拓北養護学校のイメージ〕

- よくわからない 見えない学校
- 子供が楽しく安全に見える学校
- 授業内容が親には見えない
- 変化していつている
- 地域とのつながりができつつある、開かれた学校
- 子供一人一日の特性や持ち味を生かした教育
- 先生は笑顔、明るい雰囲気
- コロナ禍から脱出して順調に連携を進めている

〔拓北養護学校に期待すること〕

- PTA や学校運営協議会等、いろいろな動きのプロセスを見せる
- 普段の学校公開(日常的な)
- キャリア教育、卒後の生活を早くから保護者と教師が共有しよう
- 地域学習も目的の明確化
- イベントの開放
- 「学校だより」の紙面による回覧をしてみてもは(地域の町内会へ)



◎次回に向けて

- ・今回の学校評価（保護者、教職員）を受け、校内では次年度に向けた取り組みについて検討しております。その結果と次年度の計画等について、次回の学校運営協議会で報告させていただきます。それらの内容を、保護者の皆様にもお伝えいたします。
- ・お忙しい中御参加いただき、御意見等をくださいました運営委員の皆様、ありがとうございました。